

世界文化遺産

百舌鳥・古市古墳群
一体的登録をめざす

市では、世界文化遺産への百舌鳥古墳群と古市古墳群(羽曳野・藤井寺市)の一体的な形で登録をめざし、府、羽曳野・藤井寺市と連絡会議を持ち、検討を進めています。

9月にはこれらの自治体と共同で文化庁へ提案を行い、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産暫定一覧表(※)への記載をめざします。

これは、昨年4月から百舌鳥古墳群の世界文化遺産登録の課題について検討を



仁徳陵古墳をはじめとした百舌鳥古墳群

進めている歴史文化都市有識者会議(座長＝北海道大 学観光学高等研究センター 長・石森秀三さん)の「歴史



古市古墳群(藤井寺市教育委員会 提供)

的経緯からも両古墳群は、本来は一体的に登録をめざすべきとの意見に基づいたものです。

なお、同会議での検討内容をまとめた「平成18年度有識者会議まとめ」は市役所市政情報センター、区役所市政情報コーナーでご覧になれます。問合せ＝歴史

文化都市推進室 ☎228・7014 FAX 228・7900

(※)「世界遺産暫定一覧表」とは、各国が世界遺産登録をめざす遺産を記載した一覧表で、世界文化遺産に登録されるためには、まず、この一覧表に記載される必要があります。